

## 令和4年度第2回「金沢の未来を語る まちづくりミーティング」議事要旨

- ・日時：令和4年8月31日（水）18時30分～
- ・場所：教育プラザ富樫 121・122研修室
- ・対象：三馬、米泉、富樫、伏見台、額、四十万、扇台（校下、地区）

### 1 開会

#### 【村山金沢市長】

皆さん、こんばんは。何かとお忙しい時間帯でございますが、皆様にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

さて、まちづくりミーティングですけれども、令和4年度は、3年ぶりに開催させていただくということになりました。もちろん、私が市長に就任してからは初めての開催ということになります。今年度のまちづくりミーティングにつきましては、「未来を語る」ということで「10年後の未来の都市像に向けて」というテーマにさせていただきました。

町会連合会の皆様とは、ブロック単位で9回にわたって開催させていただきたいと考えておりまして、また、公民館と校下婦人会の皆様とも4回開催させていただくという予定でございます。

名称も「金沢の未来を語る まちづくりミーティング」ということにいたしました。ちょっと中長期的なことになりますけれども、今後の10年間の都市像をつくるための意見交換ということで、少し遠い未来についての意見交換をできればというように思っております。本日は限られた時間でございますけれども、ぜひよろしくお願ひ申し上げます。

### 2 市長講和「親和力で奏でる金沢」

市長講和の内容については、レジュメを参考願ひます。

### 3 意見交換

#### 【富樫校下町会連合会】

公民館とか児童館とかの建て替え、これはやはり富樫校下でも非常に悩ましいところで、5年前に決めてお金を町会から全部集めている状況ですけど、昨今、すごく建設費がどんどんどんどん上がっていますので、4割、5割ぐらい上がるんじゃないかなという予測もありまして、せっかく集めたのに実際もう一度集め直ししなきゃいかんかもしれん。増額しなきゃいかんという問題がやっぱり同じようなところがあります。

これについては、また別途、教育委員会等ともお話ししていますので、本当に良い金沢方式、誇るべき金沢方式と、いや、そうじゃないんじゃないかなというのも時々あるので、その辺についてはぜひ引き続きご支援をよろしくお願ひしたいと思います。

1点だけ。先ほど市長さんのお話でまちなかの再生というのが予算概要で出てましたよね。何かの資料を見ますと、例えば中心市街地にどのくらい人が居住してるのかなというのを見ると、たしか居住人口5万3,000とか5万5,000とかいう数字を見たことあるんですけど。というのは、全体の十数%なんですね。ということは、それ以外の郊外に8割、9割が住んでるわけです。言いたいのは、本当にまちなかも非常に大事やと思います。都心の中心部というのがなければもう金沢自体が潰れてしまうと思いますし、私自身もそういう都心軸とかの整備、それにずっと三十数年携わってきましたんで、これは非常に大事だと思うんですが、やっぱり郊外にも光を当ててほしいなと。ここに住んでる人は皆さんそうやと思うんです。

というのは、例えば富樫校下で言うと、円光寺住宅は昭和30年代です。この前からちょっと災害とかある山科とか窪のそういう崖地のところは昭和40年代に山をがーっと削って開発したところなんです。考えてみると、もう50年から60年経っているんです。当時、30代の人がみんな70代、80代になっているんですね。うちの町会でも高齢化率を調べたら、世帯名簿で50%を超えていて、自分もそうなったからそうなんかもしれんですけど。というのは、住宅とかそういう地域自体がかなり老朽化してるし、人間もかなり高齢化が進んでるんで、いろんなインフラのリニューアルというのをしっかりと対応していただければなと思います。

もう一つは、災害の危険性というのが非常に課題になっています。この前、梯川でも氾濫しましたけれども、伏見川でもやっぱり護岸が崩壊して、山道が崩れたり、あるいは住宅団地のほうでも土砂崩れが起きたり、もう伏見川も何年も何回も何回も護岸が崩れてまして、市のほうできちっと整備、河川改修は数年前にさせていただきましたけれども、こういう災害と隣り合わせになっていると。

もう一つは、冬場の豪雪時、これも金沢方式か分かりませんが、やっぱり対象路線が非常に少ないですね。それ以外は全部地元の人みんなでやらなきゃいかんと。まさに陸の孤島になりますので。去年も、今年も町会で町民一斉除雪デーとか、ルール決めて隣近所みんな出ましようよと。機械除雪も少し補助しましようよとか、いろんなルールを決めてやっと対応してる。本当に苦慮してるところです。

もう一つ、活断層も下に走っていますし、あれやこれやの災害が本当に身近に感じられておるわけです。

この前日曜日、市長さんにも視察いただきましたけど、市民防災訓練、お忙しい中、本当にありがとうございました。あれなんかでもやっぱり起震車の体験とか、煙中の訓練とか、いろんな避難所を見てると、本当にこういう体験型のコンテンツというか、そういうのが非常に大事で、いざというときにやっぱりそういう日頃からのこういうソフトの面で防災訓練なり、防災教育なり、そういうことも非常に大事かなと思いますので、そういうことも含めて、市のほうでもハード、ソフトのそういう対策なんかご支援をいただければなと思います。

#### 【村山金沢市長】

ありがとうございました。非常に幅広くご意見をいただいたので、全てにお答えできるか分かりませんが。

まずは、先日の市民防災訓練、ありがとうございました。それぞれ見て回らせていただきまして、そして解説いただきましてありがとうございました。

その中でも起震車の森本・富樫断層も体験させてもらいまして、森本・富樫断層だどどのように揺れるかということ、結構大きな揺れで本当にびっくりしました。震度6を大きく超すような、そういった地震だったというように思います。

まずは、災害の危険性のところからお話をさせていただきますけれども、今日の午後先ほど伏見川で、これは米丸校下の方なんですけれども、実際に床上まで上がった地域もあって、そこを見させていただきました。東力の辺りを見させてもらったんですけれども、伏見川がやはり氾濫の危険性が非常に高く、今回も危険水域まで一番先に上がったというところだったので、これからも対応を考えなければいけないなというように思いましたし、これは県のほうにも併せて申し入れたいというように思っております。

今回の溢れた水路のところについては、まずは応急の対策を土砂がたまっているところ

をきれいにするというところからさせてもらって、直近で大雨が降ったときに災害がないようにということはさせてもらったんですけども、そのハードのところと併せてソフトの対策もしなければいけないということを痛感して今動いております。

また、総合的な治水対策ということについては、国の事業もありますので、国に対しても申入れをして、こういう災害があったときだからこそ積極的な支援をしていただかないと。また、北陸地方整備局も、本当に危険が迫ったから、このときに次の対策をしなければいけないんだということをおっしゃっていただきましたので、強く訴えていきたいというように思っております。

また、郊外の再整備というところについては郊外にもう50年、60年住まわれている、その住宅団地ができるとその年齢と一緒に年を取っていく方々の交通の不便なところというのは出てくるというように思います。今、公共交通のバス路線があるところであっても、例えば、森本から湖南もそうですし、三谷や医王山、夕日寺といった地区もそうですけれども、JR西日本さんのバスだったんですが、路線を一部廃止されました。コロナ禍によって経営状況が非常に厳しいような公共交通機関も出てきているので、そういったところをどのように支えられるのか、あるいはそこでは代替手段としてAI地域デマンド交通の「チョイソコ」というのを走らせております。そういったところもひょっとしたら必要になるかもしれませんけれども、地域公共交通を走らせるための補助事業などは現在ありますけれども、それもどの程度の負担にしていくかということもこれからの検討課題かなというように思います。しっかり考えていきたいというように思いますので、ちょっとここではこれ以上のお答えできないかもしれませんが、課題として認識させていただきます。ありがとうございました。

#### 【富樫校下町会連合会】

去年の1月、もう雪がどんと降ったとき、本当に3日ほど全然車の出入りも何もできなくなって、みんな陸の孤島みたいになってたんですけど、それで例えば町会でのルールを決めて、自分の家の前とかその辺はもうすぐにやるんだよと。それは金沢の風習だと。金沢のルールだよと。これまで若い夫婦なんか全然そんなこと知らなかったのが、今年はそれをするようになって、空き家とか、あるいはお年寄りでできないところも班とかでみんなやっていこうというルールづくりして、どうしてもできないところは機械除雪やましよう、補助しよう。それを市の道路管理課と業者も事前に行って、なるべく

早く対象路線はやってくれと。残りは自分らでやるよと言ったら、今年はびっくりしました。朝起きたらみんなピカピカになっていて。

そういう住民の方々の意識を高めていくというのも非常に大事かなと思います。多分、ハードだけではちょっと金沢の場合は大きいから限界があるかと思うんで、そういうこともまた検討して実行していただければと思います。

#### 【伏見台校下町会連合会】

市長のほうからも未来を語るということでいろんなお話ししていただき、誠にありがとうございました。このまちづくりミーティングというのが恐らく今日が1回目で、今後いろんな会場で続けていくという中で、せっかくの機会なんでということで質問のところに地域の方にどうしても質問を振ってしまうと、やはり災害時のことだったり、防災のことだったりということになると思いますので。せっかくこういう未来を語るミーティングなのにちよっともったいなというところがありますので、そこを今後複数回開いていく中で質問を受けるときにはちょっと進行を考えていただくのか、危機管理課の方に来ていただくのが一番いいのかなとは感じております。

私個人としては、先ほどスライドのほう見させていただいてまして、最後のほうに、急に地元の伏見台保育園のNeoについて、2年間かけて整備していただくということで、初めて聞いたのでちょっとびっくりはしたんですが、こういうことを今後進めていく中で、我々地元で何か一緒にできることがないのかなというところはまず思いました。ですので、今から計画するのか、もう進んでいるのかもちょっと分からないですが、今後、そういったことを教えていただければ、我々も協力できることがあると思いますので、ぜひ流れについてまた、今日でなくてもいいので地域のほうにも発信していただければ、逆に我々のほうから、じゃ、こういうことができるんじゃないかっていうことで、また一緒に取り組んでいければと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

#### 【新保都市政策局長】

これは民間保育所の増改築に補助をさせていただいたということのご紹介をさせていただきました。我々としては保育所から事前に町会に話してもらいたいなという思いはあるんですけども、地域で支えていく、地域の皆さんと一緒に運営していく保育所なので、できるだけ情報を共有していきたいというふうに思います。

#### 【松田市民局長】

通常3月に行う政策的な予算が、今年度は、市長が替わられて、6月にずれ込んで、その6月の補正予算にそういうプランが上がっているということで皆さんにお知らせして。最後に市長が説明した地元のことに関しては予算化されている事業であって、全体の予算の周知として3カ月ずれたことで、お知らせするタイミングもずれてるという部分はあるかと思いますが、そこは今後の課題かなと。

通常はどうかというと、新年度の予算が固まった後の2月に、町会連合会の理事会で各校下の会長さんが集まる場でご説明しています。今年度は選挙の絡みとかがありまして、その全体の肉づけ予算を説明する機会というのが実はできなかったもので、今おっしゃられたように、これは本当に予算化されているのか、されていないのかということも含めて分かりにくかったところはあったかなと思いますので、それについては今後また皆さんにお知らせするタイミングとか、そういうことも併せて考えていきたいと思います。

#### 【扇台校下町会連合会】

今回は、いわゆる市長さんの思いを語る会で、こちらからの質問を受けないということで僕ら理解しとったんですよ。地域からの問題は出さないでくださいみたいな話があったので、だから校下として何か言いたいことはないかとか言われても。今までは年4回ぐらいやっていたけど、今回は全校下に市長さんの思いを知らせたいということで、ブロックごとにやるということで、今回は、申し訳ないけど、校下としての意見は出さないようにということがあったので、皆さん何も用意してないんですよ。だから、本当言うたら校下としてはもっと大きな話もあったのかなと思いますけど、今回はそうではないということで、なかなか意見が出てこないの、ちょっとした細かい話にばかりなってきたかなというので考えておるんですけど。その辺の僕らの受け取り方と主催者の思いに食い違いがあったので、こういう形になったんかなというふうに思います。

#### 【新保都市政策局長】

これまでのまちづくりミーティングは、皆さんの校下の課題について、それに対する質問を事前にいただいて、お答えも用意をして、それをもとに進めていくという形で行っていましたが、今回は、冒頭に市長も申し上げたとおり、まずは市長から思いを説明させて

いただいて、金沢の未来を今後どうしていくかということは、皆さんの校下のことも含めて10年後に、どのようなまちになっていたらいいかということをお聞かせいただきたいと思っていました。その中で、当然、地域の中で未来を語るときには、皆さんの校下の課題のこともあると思いますので、その辺についてはお話をいただき、質問していただくことになるかなとは思ってたんですけども、最初の説明が足りなかったのは、事前の準備として皆さんから質問をいただいて、最初からお答えを用意するわけではないですよという中で、お答えできる部分については当然お答えするという話はさせていただいたつもりでいたんですが、ちょっと説明不足だった部分があったのかなと思っております。その辺については、申し訳なかったなというふうに思っております。

#### 【扇台校下町会連合会】

もしそうであれば、事前にその市長さんの思いというものをやっぱり何か校下にいただくのと、みんな集まっても急に何か意見出してくださいと言ってもなかなか個人的には出ないです。だから、やはりそういうものは、今日も何かこういうペーパーしかないので、せめて内容のものがついとるということであれば、それを見ながらという話もあったんでしょうけど、これだけの列挙だけでは今言われるような趣旨のそういう質問とかは出ないです。

#### 【新保都市政策局長】

貴重なご意見として、こちらを進め方を今後どういうふうにするかを考えさせていただきます。ありがとうございます。

#### 【三馬校下町会連合会】

高齢者の関係で、その医療制度の問題でちょっと1つだけ質問させていただきたいなと思います。というのは、以前1年ほど前だったかちょっと忘れましたが、大きな病院が廃止するとかというので新聞に出たことがあったんですよ。ここら辺の地区の中では、北陸病院が廃止するとかいうので、新聞に出たようなケースを覚えているんですが、残るのが有松病院と赤十字病院と市民病院と、この近くはね。プレスに出たその内容がどういう基準であったのか。お年寄りがどんどんと増えてくるような時代の中で、やはり身近に大きな病院があると非常に心強いなというのが患者の立場だろうと思うので、そこら辺のその

考え方がもしも教えていただけたらいいかなと思ひまして質問しました。

**【村山金沢市長】**

私が知っている範囲内でお答えさせていただくと、北陸病院や、赤十字病院も含めてだと思ひんですが、公的な病院の経営の在り方ということは、確か国のほうで検討されておひまして、その中で経営の在り方として一定の水準を下回っているということで北陸病院と赤十字病院が名指しをされたというのがおそらく3年前の状況だったというように思ひます。これは我々が金沢市立病院のことを考えている検討の中で、南部の中核的な病院として市立病院と北陸病院と赤十字病院がそれぞれ連携し合つて診療機能など不足するところもあるかもしれないけれども、それを地域の総合病院的に検討できないかというように検討していたのが3年前でした。

一方で、コロナ禍がその後にあつて、感染症対策の病院というのは重要度が増したということもありますし、また北陸病院と赤十字病院もこの2年間でまた経営の状況が変わつてきたということもあるというように思ひます。それぞれの病院で、これは医局を抱える金沢大学との関係もあると思ひますが、その関係でどうされるかというのはそれぞれの病院の経営の判断だと思ひますけれども、まず廃止ということが決まっているわけではないというように私は認識しています。その上で、経営の効率化などをした上でそれぞれの病院の経営と、あるいは連携の在り方というのをこれから探っていくような段階になるかというように思ひます。

**【伏見台校下町会連合会】**

10年後をいろいろ考えておつたときに、やっぱり今のこの平和な日本があるのは、今のご年配の方が一生懸命頑張つてくれたおかげだと思ひますので、ご年配の方が毎日にここに明るく生活できる世の中がいいなと思ひました。今、私も中小企業で働いておるんですが、中小企業の方もやっぱり働いた分頑張つて稼げて世の中にお金落とせるような社会がいいかなと思ひますので、その辺も考えていただけたらなと思ひました。

**4 市長まとめ**

**【村山金沢市長】**



本日は限られた時間でございましたけれども、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。本日いただいたご意見につきましては、都市像を反映する際に組み込んでいけるように頑張っていきたいというように思っております。

また、まちづくりミーティングの在り方についても、あるいは各地域でのお困り事、課題についてもこの場でご意見をいただきました。在り方については、これからのミーティングの際にもより良いものになるように考えていきたいと思ひますし、各地域の課題につきましては追って担当する課から回答させていただきたいというように思っております。これからの都市像づくりにつきまして、皆様方のご協力、またご意見をいただきたいというように思ひますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。以上で挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。